

科目名		建築計画演習			
担当教員		淡路 泰輔		実務授業の有無	有
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	演習	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	建築計画において、2級建築士学科試験合格に近づくために、主に計画各論と建築設備の復習を行います。				
学習目標 (到達目標)	2級建築士製図試験の計画について合格レベルの知識定着を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい建築計画 ・配布資料 				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	住宅建築		住宅建築に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
2	商業建築		商業建築に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
3	公共建築		公共建築に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
4	各論一般		各論一般に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
5	空気調和設備		空気調和設備に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
6	給排水衛生設備		給排水衛生設備に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
7	照明設備		照明設備に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
8	電気・輸送設備		電気・輸送設備に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
9	防災・消防設備		防災・消防設備に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
10	※順次、評価テストを実施する。				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
取組姿勢	評価テスト				
20 %	80 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			2級建築士合格へ向け、問題慣れする事を目指します。基本的な事項は理解していると思います。ここでは問題が解けるよう知識を確実に身につけましょう。 ※取組姿勢：授業態度		
実務経験教員の経歴	設計事務所等に勤めて25年以上				